

# ふれんど通信 第27号

発行 平成29年3月21日 児童養護施設ふれんど  
〒348-0047 羽生市大字下新 666 Tel.048-560-5866

## 日本のことば一考察

施設長 川田 光好

日頃より「ふれんど」へのご支援を賜りましてありがとうございます。また私たちのつたない通信を読んでもいただき、ご感想などいただいておりますことに重ねて御礼申し上げます。今回施設長の言葉は、日ごろ思っていることを述べさせていただきます。

私たちが日ごろ何気なく使っている「ことば」についての一考です。

私たちが暮らす施設の子どもたちは、自分たちの人権が保証されず、悲しい思いをしてきた者がほとんどです。その最たるものが「虐待」であり偏見であり、差別であります。

1989年の第44回国連総会において採択され、1990年に発効された「児童の権利に関する条約」は子どもの基本的人権を保障しています。暴力や威圧・暴言などで子どもの心身に痛手を負わせることが、どんなに罪深いものでありましょうか。今回私はそんな人権についての大問題に触れようとするものではなく、ごくごく日常の中で、知らぬうちに相手を傷つけ、嫌な気持ちにさせていることばについて考えてみました。それは大人対子どもに限ってではありません。子ども同士のやり取りの中でも、相手を傷つける言葉として「死ね」「消えろ」「うざい」「きもい」など、身近で使われていることもあります。「偏見」や「差別」「人権無視」の言葉であります。これほどのひどい言葉は特別としても、日ごろの会話の中にけっこうあるものです。

使わないほうが良いことばを、放送業界で取り上げられている「放送禁止用語」のなかから再確認しようと思います。

表日本・裏日本・・・太平洋、日本海側 片手落ち・・・気配りにかける、不公平  
ぎっちゃ・・・左利き 看護婦・・・看護師 乞食・・・ホームレス  
スチュワーデス・・・フライトアテンダント、客室乗務員  
馬鹿チョンカメラ・・・オートマチックカメラ 父兄・・・保護者  
養老院・・・老人ホーム、老人養護施設 娘を嫁にやる・・・結婚させる

これ以外にも、たくさんの不適切な言葉はあります。すでに死語になりつつあるものもありますが、根強く今なお使われているものもあります。次世代へと、引き継いではならないものだと思います。私たちが少し意識して使わないようにすることで、伝承の道が少しでも絶たれればと思うのです。一方で懸念されることがあります。それは時代と共に新たに生まれる言葉です。いわゆる若者言葉です。「全然〇〇」否定的な意味かと思いきや、〇〇を強調する言葉だったりしますし、「やばい」などは、危ないとか危険の意味だけでなく、すごいとかおいしいなどにも使うそうです。私にはよく理解できません。

先日テレビで、私と同年齢のおじいちゃんが、「やばい」「まじかよー」なる言葉を連発していました。その人は、流行に乗って？若い感覚で？・・・私も時代の流れに沿って、若者が使う言葉を理解して使おうか、断固「美しい日本語」を守るのか悩むところです。

小学校高学年が英語を教科として学ぶようですが、私も日本の「ことば」に少し不安を感じる者の一人であります。



## 里親里子さんと手をつないで

里親支援専門相談員 東田 圭介

埼玉県内の児童養護施設には里親支援専門相談員（里親支援ソーシャルワーカー、以下略して里親支援SW）という役職が新しく設けられたのは平成25年度でした。翌年平成26年度からは、県内各施設に1名配置され、私もその1人でした。施設で生活している子どもの3分の1を里親委託にしていこう方針が国より出ています。現在、埼玉県内の入所児童は約1,200名ですから、そのうち約400名を施設入所から里親委託に変換するという考えです。

この里親支援SWの役割を大まかに言いますと、①施設の入所児童の里親委託の推進、②退所児童のアフターケアとしての里親支援です。それから、③地域支援の一環としての里親支援、またその充実を図ることです。

また、上記とは別に羽生市社会福祉協議会の協力のもと、「ふれあい短期里親運動」の実施にも携わっています。こちらはいわゆる里親とは若干意味合いが違い資格要件も緩く、夏休みと冬休みに実施、どちらかというボランティアの意味合いが強いです。

里親は難しい問題が多く、相談員になってみなければ分からなかった里親さんの苦労もたくさん知りました。また、支援する側の姿勢等も改めて考え直させられることも多くありました。

埼玉県では3年前から里親支援専門相談員連絡会という会を発足しました（埼玉県内の児童養護施設の里親支援専門相談員の集まりです）。四半期に一回のペースで集まり、埼玉県全体の里親支援を今後どうしていくか等話し合ったり、他の施設の事も知ることができ、良い情報交換の場となっています。

昨年9月に創立十周年式典を開催した「ふれんど」に多くの退所した児童が来訪してくれました。その中にも里親に委託された4名とも再会でき、成長した姿を見ることができました（そのうち私が直接関わったのは1名です）。

いま里親さんにとって相談する人が少ないというのが現状です。そのため里親さんが気軽に相談や遊びに来られるような雰囲気作りをしていきたいと思っています。

また「ふれんど」で暮らしている子どもたち・職員が将来『ふれんどにいて良かった』と暖かい気持ちで思い出せるようにしていきたいと思っています。

まだまだ勉強不足で至らない点が多くありますが、今後も引き続き暖かい目で見てくださいと思います。





# 巣立ちの季節

春からふれんどを旅立ち、自立する2人の女の子に心境を聞いてみました。

—夢を叶えるために専門学校へ行くという選択をしたAさん。いつ頃決心したのでしょうか。

高校2年の夏、友達と好きな歌手のライブに行きました。そこで「こんなにすごい歌手がいるんだ。こんな世界があるんだ。」と感動し、将来はそれをつくる側の人になりたいと思いました。まだはっきりとは決まっていませんが、アニメソングの歌手になりたいと思っています。

ただ、歌手になるのは簡単なことではないのですぐにはふれんどの職員に言えませんでした。高校卒業後は就職したほうがいいとは思いましたが、2年生の終わり頃に思い切って職員に相談してみました。反対されると思いとても不安でしたが、「そうだと思ってた。」と言ってもらい、応援してもらえてほっとしました。

—進学費用はどうするのですか。

新聞奨学生制度を利用します。専門学校に通う間の2年間、朝刊・夕刊を配るかわりに学費をほぼ全額払ってもらえます。それに加えて月給も出ますし、家賃も免除となります。朝夕の食事は月3万円で作ってもらえます。月に6日はお休みです。

—どのような生活サイクルになるのでしょうか。

まず2:30に起きて3:00に朝刊を配ります。5:00に終わって、9:00~14:00まで学校です。15:00から夕刊を配り、17:00に終わります。21:00には寝て次の日に備えます。

—不安はありますか。

あります。まず朝起きられるかが不安です。今から練習しています。また、専門学校卒業後にきちんと職に就けるかも不安です。ただ、20代のうちにはどんなことでも好きな道に近いなら挑戦してみようと思っています。

—今の気持ちは。

好きなことをやれる楽しみ6割、ライバルとの競争に不安4割です。

—最後に一言。

いろいろあったけどふれんどに来られて幸せでした。専門学校でミュージカルの発表があるので職員に見に来てほしいです。たくさん怒られたけど感謝しています。A棟職員愛してるぜ！

—就職という選択をしたBさん。就職活動はどうでしたか。

高校3年の2学期から就活を始めましたが、最初は「早く決めなきゃ。」という焦りがありました。11月に最初に受けた会社から内定をもらい、安心しました。

—仕事を始めるにあたって今の気持ちは。

仕事のことはとりあえず今は考えられていません。まずは運転免許の取得のため、免許合宿を頑張りました。2週間一人での免許合宿は不安でしたが、友達もでき楽しかったです。それから本試験の勉強をし、無事免許がとれたので今はほっとしています。これから引越しの準備をするので今はそれで頭がいっぱいです。

—初めての一人暮らしですね。

楽しみです。友達を呼んで一緒にごはんを作りたいです。

—最後に一言。

ふれんどでは、一泊旅行でディズニーシーに行ったのがとても良い思い出です。お世話になりました。

二人とも  
がんばってね





しょうごう  
にいったら  
たしん  
6才 M.N

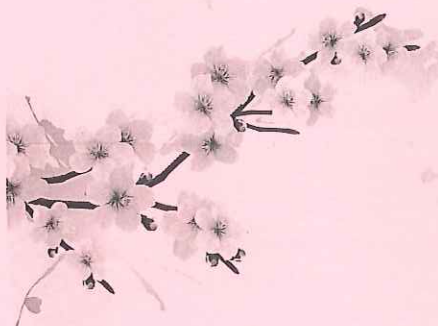
O.M 中3  
中学校生活では、  
特に部活をがんばりま  
した。なので、高校に行き  
てまた続けたいと思  
っています。

遅刻しない。  
中3  
M.Y

たいいく  
がんばります  
6才 K.R

お考え  
さん  
6才  
S.O

私は、高校生に  
なったら、  
軽音部に入って、  
ギターをひけるよう  
になりたいです！  
中3. M.H



# 卒園・卒業 おめでとう

文  
針  
道  
中  
学  
生  
で  
も

中学校にいたら、  
先輩かまけいと部  
活、勉強を元張  
りたいです。  
小6 Y.S

新聞配達と  
学校の両立を  
元張りたいと  
思います!!  
高3 A.H

剣道部  
がんばりたいです。

中学に行っ  
たらサッカー部に  
入るので毎日  
トレーニングを  
忘れずに文武両道  
で中学校生活を  
おくります  
小6 T.N

今までお世話になり  
ました。ありがとう  
ございました。  
高3 A.N

小6  
K.O.





心理士から

## 発達段階とレディネス

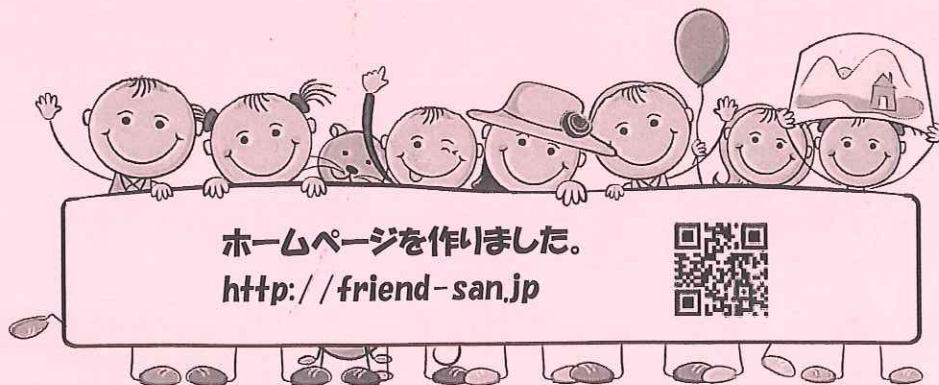
子どもの養育やしつけに当たって一番大切なことは、子どもの発達段階を理解することである。発達段階を理解していないと、全く無意味なことをしたり、子どもにストレスを与えたり、そのことでむしろ自分のストレスともなり兼ねない。

ある有名な心理学者はこんな実験をしている。(階段登りの実験)

一卵性双生児をA群とB群に分け、A群は生後46週から6週間、B群は生後52週から2週間に渡り、階段を登る訓練を実施。生後54週の時点(A群、B群とも訓練終了時)では、早くから訓練を受けたA群より、遅くに訓練を開始したB群の方が速く階段を登ることが出来たという結果となった。これは、いくら早くから訓練を行っても、適切な成熟期になっていなければ訓練の効果は薄いということである。つまり学習に対する心身の準備状態(レディネス)の重要性を示している。また、成熟と学習の時期には相互関係があり、その時期を逃すと二度と発達が期待出来ないということも報告されている。例えば、言葉の獲得は幼児期まででなければ、それ以後に学習してもほとんど効果が無いと言われている。(アヴェロン野性児の事例)これを臨界期ないし敏感期と言う。

児童心理学の平井信義教授は、発達段階とレディネスを左記のような三角形で表している。その中でも特に「乳幼児期の情緒の安定」は、人格形成の基本となるとしている。言い換えれば、この時期の親子関係(特に母子関係)がその後の人格形成に大きな影響を与えるということである。だから、この部分が不足していたら早めに補完する(やり直す)必要があるという。それも私たち職員の役割でもある。

また、発達段階や子どもの個性は個人個人によって異なるので、それらを見極めながらの対応が必要であるが、ある意味、無理しないで、のんびりと見守ってあげるといふ姿勢も大切だと思う。(守屋昭一)







## 地域小規模施設『あすなろ』から

あすなろに異動になり、もうすぐ一年が経とうとしています。何も知らなく戸惑いや不安を感じていた私に、職員は勿論のこと子どもたちからも沢山のことを教えられ、色々なことを学ぶことができました。感謝するばかりです。

この一年で子どもたちも、一回り大きくなりました。日々悩んだり発見したり、できなかったことができたりと心と体の成長が目に見えて分かります。今もグングン成長中です。

そして2017年が無事始まりました。あすなろの子どもたちに今年の抱負を聞きました。

高一【Mちゃん】グッズを集める

中一【Kちゃん】自分の意志をしっかり持ち周りに流されないようにする

中一【Mちゃん】何事も努力する

小四【Aちゃん】宿題を計画的にやる

小四【Mちゃん】縄跳びを頑張る

という風にそれぞれ考えました。叶えられるように努力してほしいと思います。それと職員三人の抱負は…健康第一で、笑いの絶えない明るい毎日を子どもたちと過ごしていきたいと考えています。子どもに負けずに頑張っていきたいです。 田中(恵)



## ファミリーホーム『しらかば』今年度の振り返り～来年度へ向けて

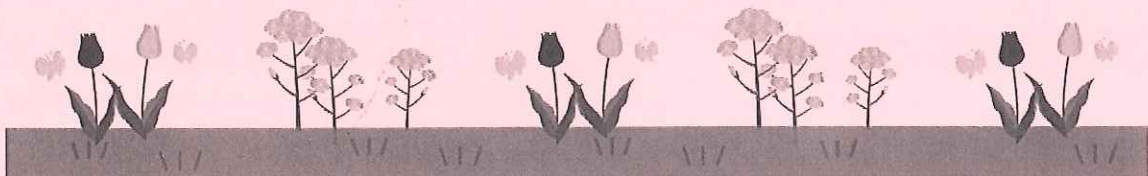
しらかばは今年度5人の子ども達でスタートしました。入学が3人進級が2人、新しい環境に慣れない中、周りについて行こうと必死だったと思います。各々の頑張りがあり、無事に今年度も来年度に向けて振り返る時期になってきました。

小学5年生になったR君は忘れ物も徐々に減り、朝も時間には起きて登校班にも遅刻しない様になりました。中学校に入学した2人は部活部活の毎日で勉強面では少し苦戦する事もあるようですが、それでも夢中になれるものが見つかった様です。高校に入学したJ君はバス通学から自転車通学に変わり、就職に向け企業への実習も始まりました。さらに来年度からは生徒会の副委員長になる事が決まりました。なんとか高校2年生に進級出来たK君は今年度の2学期、ここまでの高校生活で初めて赤点を取らずに学期を終え、自信を付けた様に見えます。アルバイトもしながら、きっとどこかで頑張っているのだと思います。そして今年度も終盤になってきた今、小学2年生のK君がしらかばの新しい仲間となりました。不安も多い事と思いますがしらかばのお兄ちゃん達に囲まれながら一緒に楽しい生活を送ろうとしています。

今年度もそれぞれ様々な思いや悩みがあったと思います。またそれは来年度からも変わらず、さらに大きな壁にぶつかる子どももいると思います。しかしその壁を1つ1つ乗り越えながら大きくなってもらえる様、私たちも頑張らなくてはと感じます。

今年度も様々な方からのご協力を頂き、無事に来年度を迎えられます。来年度もしらかばをあたたかく見守っていただければと思います。

(相澤)





## 日誌

※毎月、職員会議・自立支援検討会議を実施

※随時、職員研修を実施

### ◆ 1月

- 1日：初詣  
あすなろ冬季残留児外出
- 2日：しらかば・F棟冬季残留児外出
- 3日：E棟冬季残留児外出
- 4日：A棟・C棟冬季残留児外出
- 6日：高校始業式
- 8日：B棟冬季残留児外出  
羽生市成人式
- 10日：小・中・高校始業式
- 13日：G棟冬季残留児外出
- 18日～20日：東中1年スキー学校
- 22日～24日：南中1年スキー学校
- 22日：羽生市フロアカーリング大会
- 23日：高校生インターンシップ
- 25日～27日：東中1年スキー学校

### ◆ 2月

- 3日：南中入学説明会
- 4日～5日：羽生市親子スキー教室
- 4日：幼稚園入園手続き
- 8日：新二小入学説明会
- 18日：つぼみの会  
埼玉カルタ大会
- 26日：新郷公民館まつり

### ◆ 3月

- 2日：公立高校入試（学力検査）
- 3日：公立高校入試（面接）
- 10日：公立高校入試合格発表
- 12日：かるた県大会
- 15日：中学校卒業式
- 21, 26日：幼稚園卒園式
- 23日：小学校卒業式
- 24, 25日, 27日：小・中・高修了式
- 25日：卒園・卒業を祝う会



いつも温かいご支援  
ありがとうございます  
～寄贈品～

小林静子・小茂鳥鈴子・田尾和子・平塚静太郎・田口綾乃・前嶋祐果・高田シャン・石井敏夫・小嶋昭太郎・ヤマラクフーズ・木村茂子・ケンゾー・グリーンショップしみず・ときわ木・久保接骨院・(株)クリバ・島田精肉店・かねか園・日本鏡餅組合・小笠原勝美・株式会社チュチュアンナ・駒一史・毎日新聞東京社会事業団・ギャップジャパン株式会社・埼玉スポーツ用品小売商業協同組合・元型物語寄贈プロジェクト事務局・図書出版クラブ・埼玉県書店商業組合・セカンドハーベストジャパン・ジャパングートウェイ・平井亜希江・羽生地区更生保護女性会・石原ミサヲ・ほっともっと・アパマンショップネットワーク・スナガ輪業・坪井生花店・轟中佳津子・埼玉県ヤクルト販売会社・岩浅尚子・飯島桂子・久保田春子・河田美登里・斎藤君恵・小林奈穂子・木村眞佐子・萩本信子・野本典子・小澤濤子・角田巳津子・岡戸富美子・漆山充恵・漆原弘一・尾城孝子・斎藤悦也・イオン株式会社・シャンメリー・松本牛乳・(株)楽天 (敬称略・順不同)

### 〈編集後記〉

ふれんどは10周年の記念の年を無事終えることができました。春からふれんどを旅立つ二人は、夢にむかって新しい一歩をふみ出そうとしています。不安で焦っている姿も見てただけに、心配半分・喜び半分ですが、誇らしい気持ちをもって二人を送り出したいと思います。

担当：引間